



クラブ運営方針 小さな奉仕を重ねよう、大きな目標のために

奉仕を通じて
平和を

2012-2013年度

広島北ロータリークラブ週報

2013年2月28日発行 Vol. 1343

国際ロータリー会長 田中 作次 氏
国際ロータリーテーマ
奉仕を通じて 平和を
Peace Through Service

■会長 水野 勝 ■幹事 山内 盛利
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会場 ホテルグランヴィア広島

■本日の例会 2013年2月28日(木) 第2123回
ロータリーソング 「R-O-T-A-R-Y」
来客紹介 ローター家族親睦委員会
会長時間
幹事報告
委員会報告等
ニコニコ箱
卓話時間 『年男の弁 Part3』
鈴木 孝幸 会員
二井本浩司会員
深川 泰志会員

前回例会報告 2013年2月21日(木) 第2122回

ロータリーソング 「R-O-T-A-R-Y」
来客紹介 ローター家族親睦委員会
寄付表彰
会長時間
幹事報告
委員会報告
ニコニコ箱
卓話時間 『世界におけるポリオの現状』
広島大学大学院医歯薬保健学研究院
小児科学 教授 小林 正夫 氏

ロータリー財団寄付表彰



マルチプル・ホール・ハリス・
フェロー(MPF)
大之木雄次郎 会員



会長時間 会長 水野 勝

先週もお話ししましたが今月は世界理解月間で、明後日2月23日はロータリー創立記念日です。この記念日は世界理解と平和の日と定められており、各クラブはこの日を中心に国際理解と平和へのロータリーのかかわりについて、例会、卓話をするように地区より要請されております。

そこで本日はポリオについて広島大学小児科の小林教授にお話しいただき、ポリオの状況について理解したいと思っております。ロータリーが行っている世界理解への最も大きなプロジェクトの一つはポリオ撲滅活動だと思っております。1988年125ヵ国に広がっていたポリオも2006年には16ヵ国に減少し、昨年10月には全世界で99%

減少したと報告されております。あとほんの少しです。みんなで協力し、ポリオ撲滅というゴールに到達したいと思っております。小林教授には当クラブが数年前に行った小児がんの子供たちをキャンプに連れて行くプロジェクトでも大変お世話になっております。またこのたびは広島大学病院が中四国で唯一「小児がん拠点病院」に選定され、大変お忙しい中ご講演頂きます。どうかよろしくお願いたします。

幹事報告 幹事 山内 盛利

*3月17日(日)に開催されるグループ6・7・8会員合同研修セミナーについて、義務者は入会5年未満の会員、クラブ研修リーダー、次年度理事役員の方々です。回答期限が過ぎましたが、未回答の方が多数いらっしゃいます。特に入会5年未満の会員の方と次年度理事役員の方は早急に回答を事務局にご提出ください。

ニコニコ箱 ニコニコ委員会

【自主出宝】

水野会員・増田会員・山内会員・石井会員・島本会員 小林正夫教授、本日は当クラブの例会講師としてお越し頂き、誠に有り難うございます。ポリオ撲滅は国際ロータリーの大きな活動目標の一つです。当クラブとしても、重要な活動目標としています。本日の先生の卓話を、ポリオ問題の理解に役立て、活動促進の一助とする所存です。本日はどうぞ宜しくお願い申し上げます。

岩森会員 小林君ようこそ北ロータリーへ。いやいや小林先生、本日の卓話お願いします。

高原会員◇ 本日の小林先生の卓話を大変楽しみまして参りました。小生の医院の看護師の息子さんの命の恩人でもあります。

土井会員・森嶋会員・泉会員・中山会員・久保(雅)会員・中根会員・杉町会員・桑村会員・神農会員・山下(正)会員・下前会員・塩本(能)会員・合田会員・坪内会員・山田会員・石田会員・山坂会員 小林先生お久しぶりです。サマーピアカンパでは大変お世話になりました。卓話楽しみにしています。宜しくお願いします。

山本(正)会員 久永さん、1976年に北RCご入会以来37年の長きに亘り、100%連続出席を達成され誠におめでとうございました。これからもお元気で記録を伸ばされることを楽しみにしています。

佐々木会員 先日は妻の誕生日に素敵な花をプレゼントして頂きましてありがとうございました。妻もとても喜んでいました。

本田会員 先週私の家内宛てに、素敵な花を頂きました。丁度バースデイプレゼントを巡って口げんかの最中でありましたので、2人の仲が和みました。本当にありがとうございました。

山坂会員 下関のゆめタウン長府店に買取専門店の「パルコムハイヤーズB」をオープンします。よろしくお願いたします。

坪内会員・佐々木会員・合田会員・島本会員・中山会員・上田会員・山下(正)・鈴木会員・越智会員・桑村会員・吉永会員・二井本会員 山坂さん、下関市のゆめタウン長府店で22日車買取専門店「ハイヤーズB」開店おめでとうございます。

丸本会員 今朝の中国新聞にタイトル「キャッツ」を観ていた長女が載っていました。見てやって下さい。また「キャッツ」を観に上野学園ホールに足を運んで下さい。

鈴木会員 まだまだ寒い…。春はまだかな。

当日計 45,000円(内、web 5,000円) 累計 927,000円

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円

卓話時間

『世界におけるポリオの現状』

広島大学大学院医歯薬保健学研究院
小児科学 教授 小林 正夫 氏



今日は、ロータリーが取り組んでいます「ポリオ撲滅運動」のポリオという病気について私の知っている知識の中で、皆さんにお話を提供できればと思っております。人間というのは必ず感染症とずっと戦ってきています。つい最近、昨日か一昨日ですが、広島でSFTSという新しいウイルスで亡くなられている方がいました。日本で

まだ4人しかその病気にはかかっていませんが、これもマダニが介するウイルスです。こういったウイルスと、それからマイコプラズマ、リケッチア、それから細菌、カビ、原虫、全てこれ病原性というわけですが、人と仲良くしてる病原性もありますが、人に悪さをする病原性もあるということです。

その中で皆さん方に一つだけ言葉を覚えて頂きたいのは、この顕性感染ということと不顕性感染という、二つの言葉です。顕性感染というのは、そういった病原性を貰った時に明らかに症状が出る場合です。一番典型的なのはインフルエンザだろうと思いますけれども、インフルエンザのウイルスを貰えば当然インフルエンザの症状が出ます。これ顕性感染です。ところがウイルスを貰っても、あるいは病原体を貰っても、症状を出さない人、ウイルスは持っています。あるいはばい菌は持っています。だけれども症状を出さないのを、不顕性感染と言います。ポリオの場合は意外とこの不顕性感染もあるということが、やはり問題にはなってくるだろうと思います。ウイルスと細菌、よく聞く言葉ですけれども、何が違うのか、人の細胞と比べてみると、ウイルスは非常に小さい。細菌はある程度の大きさがありますが、人の細胞に比べたら、やはりはるかに小さい。大体こういう位置づけで、昔は、細菌感染といったら抗生剤、ウイルス感染には何も効かないというのが、細菌とウイルスとの違いでしたが、今はこのウイルスに効く薬がたくさん開発されてきましたので、あるウイルスに対して薬でそれを殺すことができるようになりました。つい最近でいけば、インフルエンザは抗インフルエンザ薬というのが開発されて、症状が非常に早くに治っていくということが分かっています。

ということを踏まえながら、まずポリオの撲滅という前に、我々人類が何を撲滅してきたかという、まだ一つしかないです。ここにいらっしゃる多くの皆さん方は種痘のワクチンを打たれているだろうと思いますが、この「天然痘」という病気が非常に症状がきつということと、それからかなりの致死率の感染症ということで、非常に恐れられていた病気です。当時ジェンナーという人がワクチンを見つけた、これがワクチンの一番最初の始まりですが、この種痘ワクチ

ンをすることだけがこの病気から身を守るという、それによって1980年この時に初めてWHOがこの地球上から天然痘は無くなったと宣言しました。ただワクチン接種が始まってから約100年かかっているわけです。

1980年に撲滅宣言が出ておりますけれども、1976年以降はもう予防接種が全部廃止されていますから、それ以降に産まれた方はこの種痘のワクチンを打ってないということになりますから、万が一これが生物テロに使われたら、ここにいらっしゃる方は多分皆さん生き延びられる方だろうというふうに思います。

これが天然痘の歴史ですが、ではポリオはどうするのかということですが、まずはポリオという病気がどんな病気なのか、このポリオウイルス、主に経口感染から、口の中に入る、あるいは手で触る、そういったところからウイルスが体内入ってきます。そして、入ったウイルスは必ず便に排泄されて、その便を介して他の人に感染していくという特徴があります。

で、先ほど言いましたこの不顕性感染という言葉、ポリオウイルスに感染しても、多くの場合は病気としての症状を出さない人のほうが多いと。だから何らかの形で、ここはよく分かってないのですが、ウイルスを貰って症状の出る人、出ない人、症状が出ると麻痺が出てくるということになります。腸管に入ったウイルスが脊髄の一部に入り込んで、主に手や足に麻痺が現れ、その麻痺が一生残ってしまうというのが、このポリオの症状ということになります。そして麻痺をすると、非常に筋肉が弱くなります。当然神経がやられますので、そこから先の筋肉が萎縮してしまうために、非常に細くて、そして跛行の症状が出てくるということになります。この麻痺を回復させるための確実な治療法は無いというのが現状です。治療法が無ければ当然これはポリオにならないようにすることが必要ということになるわけです。

そして日本はこのポリオに対して今までどういふ対策をしてきたかという、まず1960年ポリオの患者が大体5千人以上いました。特に流行が激しかったのが北海道・東北地方、青森県の辺りです。かなりの流行がありましたので、ワクチンが大量に導入されました。これは当時のソビエトから貰った生ポリオワクチンというもので、これを飲むことによってポリオの免疫をつけるということになるわけです。これで野生のウイルスによってポリオを発生している方は、1980年(昭和55年)のが最後の1例だろうというふうに言われています。

ところが国内だけではなく当然海外にもこのポリオの病気がありますので、今度は輸入の可能性があるので。現在、海外でポリオが発生している国はパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアこの三つでほぼ限定されています。これらの国々で何らかの形で不顕性感染という形でウイルスを持って国内に帰ってくる人は、たくさんいる可能性があります。そうしてウイルスを持った方の便にはウイルスが排泄されて、何らかの形で家族に感染するという可能性があります。今日本ではほとんどポリオは発生していませんが、そういったウイルスが入ってポリオになってしまう可能性のある人というのはまだまだいるということになります。

日本でもポリオワクチンの接種を控えた時期があつて、ポリオの免疫機能を持たない人が増えれば、また国内でもポリオの発生があつても不思議ではないということになりますので、やはり予防接種が必要なので。その予防接種が今年の9月から生ワクチンが不活化ワクチンに変わっています。

今世界のポリオは、もうほとんどこのパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの三カ国だけです。このポリオの発生数も1988年からこの30年間の間に大体99%減っています。だからあとこの1%を世界中から無くせば、ポリオはたぶん撲滅されたということになります。実際ただ、この三カ国はまだ症例が出ております。

一つだけ朗報があるのは、インドですね、インドもかつてはこの三カ国と同じぐらいのポリオの発生数がありました。皆さん方が力を入れられている撲滅運動のお陰で2011年から12年まで患者さんが今ゼロです。ということは、撲滅運動をちゃんとやれば、それだけの手段を取れば、ポリオを無くすことができるのではないかと一つ一つのいい例になっていますので、あとこの三カ国からなんとかポリオを無くしていくということが、これからの戦いになるだろうと思います。

ロータリーが取り組まれている世界のポリオ撲滅推進計画というのが、GPEI(Global Polio Eradication INITATIVE)という、WHO、国際ロータリー、アメリカの疾病対策センター(CDC)とユニセフこの4つの機構が取り組んでいるものがあります。ここがお金を出しあって、そしてこういった発展途上国にいろいろな対策をしてきているということになりますので、ポリオ撲滅というのがもう少ししたら実現するのではないかと考えています。

ロータリークラブも、ロータリーの貢献ということで、このポリオをとにかく無くすということが国際ロータリーの大きな一つのミッションになっておりますので、ぜひこの撲滅運動が成功するように皆さんでまた協力いただきたいと思います。ただ残念ながら、まだもう少しこのポリオが撲滅されるまでに時間がかかりそうです。

そのためにまず何をしなくちゃいけないのかということ、やはりワクチン接種です。これをとにかく先ほどの三つの国を中心にして、もう少し徹底することになります。定期的な予防接種をちゃんとするというのと、それに対するまた追加の予防接種を1回だけではどうも十分な免疫機能ができませんので、2回、3回と飲んでもらうことによって、強い免疫機能を持つ、結局はそのためにはある程度のお金がかかるということになります。

なぜこれだけ全世界で皆さんが協力して撲滅運動をしているのにまだできないのか、まず一つは、常在国、今ポリオがまだ流行っている国々の協力がまだ不足しているのではないかと、それからもう一つ大事なのはやっぱりポリオの場合には下水道です。下水道の不整備という問題が、やはりこれは便に排泄されるウイルスですので、これがうまくいかないとなかなか予防接種を一生懸命やっても完全な撲滅に繋がってないということ、それからワクチンのためにはやはり資金がいる、それから海外渡航が非常に増加しているということも、ウイルスがいろんな国々に行く可能性があるということになります。で後は医学的なこととなりますが、これは私が個人的に考えているのですが、一つは、ワクチン接種率の問題、大体一つの病気を無くす、あるいは流行を防ぐためには、95%以上の方が免疫機能を持つか、それだけの人がワクチンを打たないといけない、だからまずワクチン接種率はこれ以上に上げなくては、本当に撲滅はできないだろうということ、それから難しくしているのが、この不顕性感染が多いということです。あるいはこのワクチンによるウイルス排泄の持続ということがありますので、そういったところがまだ完全にポリオを撲滅できない原因ではないのかなというふうに考えております。

最後に先ほど小児ガン拠点病院の話がありましたが、全国に15拠点病院が選ばれて中四国からは当病院が選ばれましたので、中四国の代表としてこれから活動していかなくてはなりません。これから小児ガンの患者のために、皆さん方のまた協力を得ながら、ガンの患者さんが、一人でも多く助かり、そして一人でも多く普通の社会生活ができるように、我々としても努力していきたいと思っておりますので、皆さん方のご協力をよろしくお願ひしたいというふうに思っています。

また、菓子博の開幕と同じ4月19日から3日間、日本小児科学科が広島で開催されます。約5千人の小児科の先生が広島に集まります。今後とも皆さん方の協力を得て、我々も頑張っていきたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。



次年度RIテーマ発表

次年度RI会長ロン・バートン氏が、2013年1月サンディエゴで開催された国際協議会において発表しました。

『ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES』
『ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を』



■出席報告

2013年2月21日(木) 会員数 80名

出席 64名 欠席 16名

来賓 1名 来客 4名

2月7日例会出席率 98.70%

■お客様ご紹介 ローリー-家族親睦委員会

小林 正夫 様(卓話来賓)

橋本 宗利 様(広島)

上久保昭二 様(広島)

伊藤 弘幸 様(広島陵北)

富原 健司 様(広島城南)

■次回例会 2013年3月7日(木)

卓話 『広島北RC奨学生発表』

担当：奨学育英資金特別委員会

訃報

広島安芸RC 酒井 慈玄(さかい やすはる)会員(社会福祉法人三篠会 理事長)が、2月17日(日)にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。(享年74歳)